

教育委員会会議録（9月定例会）

日 時

令和元年9月27日（金）
午後1時30分から午後2時10分まで

場 所

日立市役所 庁議室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	朝日 華子
委 員	土屋 静治

委員以外の出席者

総務課長	松本 正生
学校施設課長	石川 渉
学務課長	中島 修
学務課課長	鈴木 伸治
生涯学習課長	庄司 和江
スポーツ振興課長	木下 俊雄
指導課長	森山 秀一
指導課課長	稲田 訓子
郷土博物館長	豊田 瑞穂
記念図書館長(兼)視聴覚センター所長	山田 美幸
教育研究所長	小池 洋一
北部学校給食共同調理場長	荒川 敏明
保健福祉部子ども施設課長	寺山 一男
総務課副参事(兼)計画財務係長	酒地 康彦
総務課課長補佐(兼)庶務係長	鷺 秀哉
総務課主幹	吉野 成実
総務課主幹	芳賀 秀人

議 事

報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

議 案

議案第 46 号 日立市武道館設置及び管理等に関する条例施行規則及び日立市スポーツ広場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

その他

- (1) 令和元年第 3 回市議会定例会について
- (2) 令和 2 年度日立市立幼稚園等の園児募集について
- (3) 教育委員会関連行事等について
 - ア 百年塾フェスタ&子どもまつり 2019 について
 - イ 「介護予防と映画の集い」において開催するラジオ体操講演会について
 - ウ ふら・スポ フェスタ 2019 について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から9月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が1人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 9 号 教育委員会8月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第9号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 4 6 号 日立市武道館設置及び管理等に関する条例施行規則及び日立市
スポーツ広場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改
正する規則の制定について

教 育 長 それでは次に、議事に移ります。
議案第46号について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 武道館施設及びスポーツ広場有料施設の使用料の減免の基準を
改めるため、本規則を制定するものです。

施設使用料の減免につきましては、先月の教育委員会定例会でお
諮りしましたように、例えば市内の高等学校以下の学校等が施設を
専用使用する場合など、基本的な事項を条例別表内に明記しまし
たが、教育委員会が特別に認める使用料の減額及び免除につきま
しては、条例の規定に基づき、規則で定めるものとしています。

まず、武道館についてです。条例改正により、小・中学生の使用料を条例別表に明記しましたので、現行の施設使用料のうち、高等学校等の生徒、65歳以上の方、身体障害者、知的障害者又は精神障害者の方が、個人又は団体で使用する場合の使用料についても、小・中学生の使用料と同額にするための改正となります。

なお、条例別表に定める小・中学生の使用料は、10円単位で整理しておりますが、現行の規定に基づき、大人料金の2分の1の額を算出しますと、端数処理の関係で小・中学生の使用料と同額にならないケースがあります。具体的には5円単位の金額が生じる場合があることから、同額となるよう文言の整理を行うものです。

次に、スポーツ広場についてです。こちらも武道館と同様に高等学校等の生徒、65歳以上の方、障害をお持ちの方が、個人又は団体で使用する場合の使用料を小・中学生の使用料と同額にするため、文言の整理を行うものです。

本規則の施行期日は令和元年10月1日とし、経過措置としまして、施行期日前である9月30日までに10月1日以降の使用許可を受けた方につきましては、改正前の規則に基づく使用料とします。

教 育 長 それでは、議案第46号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第46号については、原案可決と決しました。

4 そ の 他

(1) 令和元年第3回市議会定例会について

教 育 長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 令和元年第3回市議会定例会の概要について説明します。
会期は、令和元年9月5日から9月25日までの21日間でした。

次に、教育委員会関連の質問及び答弁の概要についてです。今回は5人の議員からの一般質問のみで、議案質疑はありませんでした。

まず、下山田 幹子 議員です。

学校給食費の公会計に関して、学校給食費未納金の徴収について

の質問がありました。

質問の内容は、教職員の負担軽減と児童生徒のゆとりある教育につなげるために、給食費の徴収・管理業務を教育委員会に集約することを提案するがいかがかというものでした。

こちらについては、未納世帯に対しては、教育委員会が督促状の送付、電話による納付相談、面談による分納誓約書を取り交わすなど、主体的に取り組んでいる現状と、経済的理由で未納となっている世帯に対しては、就学援助制度の利用を促すなどの配慮をしていることを説明、その上で、学校として、子どもの家庭状況に配慮した指導も必要なことから、一部協力を得て行っていること、業務の集約については、事務負担の軽減の観点から、更に効率的な徴収方法を検討していく旨答弁しました。

続いて、豊田 茂 議員です。

市民の健康づくりについて、大きく2項目の質問がありました。

まず、健康増進を図るための環境整備についてです。質問要旨は、施設利用者が、いつでも気軽に健康づくりができるようスポーツ広場への健康遊具やラジオ体操の音声機器の設置について伺うというものです。

こちらについては、現在、折笠スポーツ広場やゆうゆう十王のほか、13の都市公園等に設置しているが、スポーツ広場に設置することで、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々の利用が期待されるため、設置箇所や地域バランスなどについて研究・検討していくことを説明、さらに、ラジオ体操の音声機器の設置については、ラジオ体操の一層の普及啓発に有効と考えるので、まずは類似事例の調査、研究を進めていく旨答弁しました。

もう1点の質問は、トレーニングルームの整備についてです。

池の川さくらアリーナのトレーニングルームは、利用者が多く、希望の時間に使えないことがあり、スペースも手狭になっていることから、市の北部や南部へのトレーニングルームの設置について伺うというものです。

こちらについては、トレーニングルームの市内利用登録者の居住地は、本庁・多賀地区が約56%、北部・南部の利用者が約44%であることを紹介、北部地区と南部地区に設置することにより、利用者が分散し、混雑の軽減につながると思われることを説明、その一方で、民間事業者と競合しないよう配慮しながら利用者ニーズの把握に努め、検討していく旨答弁しました。

続いて、添田 絹代 議員です。

小中学校のプールに関して、2項目の質問がありました。まず、学校プールの現状と今後のプール整備についてです。現在、学校プールについては、小中学校で7校が未設置となっている。近年の学校プールの利用状況、維持管理費・老朽化の状況など学校プールの

現状と今後のプール整備について伺いたいというものです。

こちらについては、7校に設置がない理由は、開校当初から設置していない学校と、校舎の建替え等により、建物の配置上、やむを得ず廃止したものがあること、対応として、かみね市民プール、久慈サンピア日立、じゅうおう市民プールに借上げバスなどで移動し、授業を行っていることを説明しました。

平成30年度の利用状況は、1学期中、約14日間開設し、平均すると1クラス当たり、小学校で10時間、中学校で6時間前後の授業を行ったこと、また、夏休み期間中は、学校施設開放を行い、地域の行事など各団体の希望に応じてプールを開放していることを説明しました。維持管理費については、平成30年度は1校当たり、平均で約52万円であったこと、老朽化の状況については、学校プールの大半が、建設から50年程度が経過しているため、修繕が必要なプールが増えてきており、今後の整備については、当面は、修繕による機能の維持を図りつつ、現在、策定を進めている「(仮称)学校再編計画」に合わせて、検討していく旨答弁いたしました。

次に、プール授業指導者の民間活用についてです。

教職員の負担軽減のための取組の一つとして、本市においても、プール授業指導者の民間活用を検討してほしいというものです。

こちらについては、市内40校の小中学校全てに指導員を配置するためには、多くの民間の指導員を確保することから、学校運営協議会等の場で水泳授業の充実について協議を行い、地域からの支援をいただくことも方策の一つであると考えていることを説明、今後、民間の指導員や地域人材の協力について、先行事例などを調査し、本市としての導入の在り方について、研究、検討していく旨答弁いたしました。

続いて、伊藤 智毅 議員です。

学校の統廃合に関して2項目の質問がありました。

まず、今までの経過及び現時点における教育長の基本的な考え方です。「日立市立学校適正配置基本方針」を踏まえ、今後、どのような方法で統廃合を進めていくのか、その考え方を伺うというものです。

こちらについては、「学校適正配置基本方針」を基に、平成30年度は、保護者と懇談する機会を設け、ここで様々な不安や感想、学校に対する思いなどを伺い、小中学校の現状とともに「学校適正配置検討委員会」に報告した経緯を説明、今年度は、検討委員会において、具体的な対応としての「(仮称)学校再編計画」の検討を進めていく旨答弁しました。

さらに、現時点における考え方については、基本方針に示された本市の目指す学校規模を維持・確保するという観点で検討を進めていくことを説明、一方で、より良い学校教育とその環境を整える仕

組みづくりを目指していくこと、また、複式学級の解消等、学校施設の環境改善について、「(仮称)学校再編計画」においてその方向性を明らかにしていきたいと考えている旨答弁いたしました。

次に、今後の進め方とスケジュールなどについてです。質問要旨は、統廃合を事務的、機械的に進めることは問題である。今後の作業の進め方とスケジュールについて伺うというものです。

こちらについては、再編計画については、今年度内を目標に素案を取りまとめたいたいと考えており、広く意見を求め、新たな視点や市民の思いなどを計画づくりに生かしていく。子どもたちにより良い教育環境を少しでも早く実現できるよう、学校、保護者、そして地域の方々の御理解を得ながら進めていく旨答弁しました。

次に、教職員の働き方改革に関して、2項目の質問がありました。

まず、新たな勤務管理導入後の勤務実態と課題及び対策です。時間外勤務の時間数や休暇取得を含め、1学期や夏休みの教職員の勤務実態はどのようになっているか。勤務実態から見てきた課題とそれらの課題にどのような対策を考えているかというものです。

こちらについては、今年度1学期の教職員の時間外勤務の実態は、小学校全校の月平均が約50時間、中学校では約80時間であった。また、小学校では約1割、中学校では約5割の教職員が、月80時間を超える時間外勤務を行っていた実態を紹介、この間の休暇取得の状況については、昨年度から、1週間のうち2日の部活動休養日を設けたほか、8月13日から15日までを学校閉校日とするなどの取組を推進し、以前と比べ、一定の効果が出ているものと捉えている旨説明、さらに、課題としては、教育委員会においては、学校に対する調査・報告や夏休みの作品募集の精選、配布物の仕分け、学校においては、慣例的な行事の見直しのほか、地域や保護者からの期待の全てに応えようとする教職員の意識改革などを挙げました。今後は、これらの課題解決のため、年内に、教育委員会と教職員で構成する検討委員会を設置したい旨答弁しました。

次に、学校現場における職員体制整備拡充の考え方です。質問要旨は、退職した教員経験者などを新たに任用し、教員の負担軽減を図ってはどうかというものです。

こちらについては、退職教員の新たな任用は、教職員の負担軽減に有効な方策であると考えていること、導入について、まずは、これまでの本市独自の取組を継続しつつ、教職員全体の意識改革を強く働きかけ、その進捗状況を検証しながら検討していく旨答弁いたしました。

同じく伊藤議員から、子どもたちの夏休み事業に関して、小学校のプール開放及びラジオ体操の実態と拡充策について質問がありました。1点目の質問要旨は、プール開放について、事業の経緯と成果の検証について、所見を伺いたい。さらに、今後、他の小学校

にも拡大すべきと考えるが、見解を伺いたい。また、運営主体が事業を受け易い体制を作るため、更なる支援を検討願いたいというものです。

こちらについては、小学校プール開放は、東日本大震災で「かねさわ市民プール」等が被災したことにより、平成24年度からスタートした事業であること、今年度で開始から8年目となり、累計9,374人、1校当たり平均、年間400人以上の子どもたちが利用しており、今後も事業を継続していきたいと考えていること、実施校の拡大については、より多くの子どもたちが利用するために必要であると考えている。「学校施設開放」制度を活用する団体とも意見交換を行いながら、検討をしていくこと、実施主体への支援については、今後も必要な人的配置や資材の購入などに、より一層支援に努めていく旨答弁しました。

2点目は、ラジオ体操の取組の経過や実績と、ラジオ体操事業の取組の目標設定、指導員養成講習会・巡回ラジオ体操の誘致を含め、どのように進めていくのか伺いたいというものです。

こちらについては、チャレンジ・ラジオ体操は、平成15年度から開始し、今年度は約3,000人、累計で約23,000人の参加をいただいたことや、指導員資格の取得支援やラジオ体操取組団体等への指導員の派遣を行っていることを紹介、指導員養成講習会や夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の誘致については、普及を図る上で、非常に有効であるので、積極的に推進していくこと、今後は、企業、総合型地域スポーツクラブ、コミュニティ、子ども会、児童クラブのほか、小・中学校においても更なる取組を進められるよう、働き掛けていくこと、今後一層の普及促進を図るため、指導員資格の保有者数や取組団体数など、具体的な達成目標を掲げて取り組んでいく旨答弁しました。

続いて、三代 勝也 議員です。

災害に対する備えに関して、マイ・タイムラインについて質問がありました。質問要旨は、「マイ・タイムライン」について、学校が防災教育の一環として児童生徒に作成させ、更にそれを各家庭で話し合わせることで、防災意識の向上を図るべきと考えるが、執行部の見解を伺うというものです。

こちらについては、児童生徒が自ら考え、作成するマイ・タイムラインは、防災教育を進める上で、極めて有効な方策であると考えます。さらに、家庭において、災害発生時の家族一人一人の行動を話し合うことで、各家庭の防災力の向上も期待できるので、導入に向けて、学校現場と協議・調整を図っていく旨答弁いたしました。

以上が、一般質問の内容です。

次に、教育福祉委員会についてです。

議案7件、報告2件、請願等1件を審査いただき、議会最終日の

本会議において、全件議決をいただきました。

委員 下山田議員と伊藤議員それぞれの一般質問の内容について、お聞きします。

まず、下山田議員の質問は「学校給食費」についてではありましたが、学校では給食費だけではなく、他にも学校教材費など、それらを合わせた形で保護者から徴収していると思います。

徴収方法は銀行引落としが多いかと思いますが、まず、それら徴収金の集め方の現状についてお伺いします。

また、教材費については、以前から、費用負担が大きいのではないかという声があったと思います。

改善されるように動いてきたとは思いますが、こちらについても現状を教えてくださいませんか。

学務課長 学校徴収金については、教材費、積立金、スポーツ振興センター共済掛金、PTA会費等があります。

それらの徴収方法は、本市教育委員会において、平成21年に「日立市学校徴収金取扱マニュアル」を作成し、これまで現金徴収が主だったところを、現在は銀行引落としによる徴収を行っております。理由としましては、保護者・教職員それぞれの負担軽減、現金を扱うことによる事故の防止などがあります。

子どもたちが学習する上で必要な教材を購入することを目的としております「教材費」については、各学校や学年によって金額等も異なりますが、委員がおっしゃったとおり、以前と比べてかなり減額されたと各学校から伺っております。

指導課長 教材費については、各学校が事前に教材届を提出しており、年間どれくらいの教材費がかかっているか一覧にしてまとめております。教材を使うことについては、もちろん「ねらい」はあるのですが、保護者負担軽減の観点から、突出して多い学校に対しては、その教材でなくてはいけないのかというところを確認しながら、各学校のバランスを考え、負担軽減を図れるような指導助言を引き続き行ってまいりたいと考えております。

委員 細かい話にはなりますが、教材費の中でも資料集の負担が大きいという声を聞きます。ドリルなどは仕方ないかなと思いますが、現在の教科書は資料も豊富に掲載されておりますので、資料集は学校で一括して購入して、子どもたち同士で共有するなどの工夫を考えていただければと思います。引き続きよろしくお願ひします。

続いて、伊藤議員の一般質問についてです。

教職員の勤務実態についての答弁の中で、教職員の時間外勤務

は、月平均小学校で約50時間、中学校で約80時間ということで実態は分かったのですが、以前と比べて減っているのか、それとも横ばい傾向にあるのか、これまでとの比較についてお伺いします。

また、今年度から勤務管理システム「きんむくん」が導入されたと聞いておりますが、成果があったのか、または課題があったのか教えていただけますか。

学 務 課 長 今回明らかになった本市教職員の時間外勤務の実態は、全国調査と同様の傾向でした。こちらについては、1か月45時間を超えないという数値目標が国のガイドラインで示されておりますが、残念ながら、小・中学校ともその基準を超えており、課題となっております。

「きんむくん」導入前の時間外勤務の厳密なデータは残念ながら持ち合わせておりませんが、学校長会などで先生方の声を聴きますと、「きんむくん」導入により、先生方の意識が変化し、時間外勤務が少なくなってきたという印象があると伺っております。特に中学校の時間外勤務には課題が残りますが、徐々にではありますが、減ってきているという感触は持っています。

先生方の現場の声としましては、漠然と長いと感じていた時間外勤務が、システム導入によって明確化されたことにより、自分の働き方を変えていこうという意識を持つようになったと伺っております。

学校全体の雰囲気という点では、先生方の中で、働き方改革についての雰囲気が上がってきたという話を聞いており、会議・行事の精選や中身の工夫など、どうすればより効率的に進めることができるのか、時間に対する意識が学校全体で変わってきたと伺っています。

また、管理職の方からは、職員ごとのデータを見ることができるよう、個人の勤務実態を客観的に把握できることから、それを活用して先生方への声掛けや校務分掌の割振りなどをしやすくなったと伺っています。

導入1年目ということもあり、課題も聞いておりますので、現場の声を反映させながら、今後の改善に向けて進めていきたいと考えております。

委 員 先生方の意識改革の面で大分効果があったということが分かりました。課題もあるようですので、その改善についても引き続きよろしくをお願いします。

委 員 伊藤議員の「ラジオ体操事業は日立市の宝として、今後も積極的な展開が必要である。」という御意見を踏まえた提案です。

ラジオ体操の肉体的・精神的な効用については、今更申し上げるまでもありませんし、効用があるからこそ、ここまで長年続いてきたと思います。

現在実施している「日立市一斉ラジオ体操の日」なども悪くはないのですが、効用があるのであれば、毎朝学校で始業前に実施することも検討してみたいかと思っております。ラジオ体操は時間的にも3分程度かと思っておりますので、ぜひ御検討をお願いします。

生涯学習課長 委員おっしゃるとおり、ラジオ体操は日々続けることが大事だと思います。学校の方でもいろいろと実情があると思っておりますので、学校側と意見交換しながら、できるだけ続けていただけるような形で働き掛けていきたいと考えております。

指導課長 運動会では、ほぼ全ての市内の小学校でラジオ体操を実施しております。各学校では休み時間などの授業以外の時間に、読書やドリルなどで活用している状況がありますので、各学校の現状を把握した上で、ラジオ体操の日常的な取組についても検討してまいりたいと思っております。

(2) 令和2年度日立市立幼稚園等の園児募集について

子ども施設課長 市立幼稚園については、少子化の進展に伴い利用者が急激に減少しており、供給過剰の状況となっていることから、これまでどおり、2年連続新入園児が10人未満となった園、老朽化が著しく耐震性を有していない園、敷地が借地である園を対象に総合的に判断いたしまして、現在整理・縮小を図っているところです。

豊浦幼稚園と金沢幼稚園は、2年連続4歳児の新入園児が10人未満で、園舎の耐震性もなく老朽化が著しいことなどから、新年度は4歳児の募集は行わず、5歳児のみの運営としまして、令和3年4月から休園を予定しております。

また、塙山幼稚園については今月新園舎が完成しましたので、来月10月から来年3月末までは幼稚園として、令和2年4月には近隣のかねさわ保育園と統合し認定こども園として運営していく予定です。

なお、高鈴幼稚園については、現在の4歳児が5歳児進級時に中小路幼稚園に転園予定として入園しており、水木幼稚園についても現在の5歳児の卒園により在園者が0人となりますことから、令和2年4月からは休園とします。

さらに、今後の幼児施設の適正配置計画としまして、現在、旧宮田調理場跡地を活用し、みやた認定こども園の新園舎建設を進めて

おります。近隣の中小路幼稚園、滑川幼稚園、今回休園となる予定の高鈴幼稚園を統合する形で、本庁地区における公立幼児施設の拠点園として、令和4年4月のオープンを目指して整備を進めてまいります。

募集方法は、例年同様、10月上旬から各園で入園願書を配布し、受付については、11月上旬に入園を希望する各園へ提出していただくこととなります。

月額保育料については、本年10月1日から実施されます、幼児教育・保育の無償化に伴い、無料となります。

(3) 教育委員会関連行事等について

教 育 長 それでは次に、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

ア 百年塾フェスタ & 子どもまつり2019について

生涯学習課長 ひたち生き生き百年塾推進本部が主催する「百年塾フェスタ」は今年で28回目、日立市子ども会育成連合会が主催する「子どもまつり」は32回目となり、昨年引き続き両団体が共同で開催いたします。

日時は10月20日(日)午前10時から午後3時まで、場所は日立シビックセンター新都市広場、マーブルホール等です。

内容は大きく3つありますが、いずれも市民が主役となって、様々な日立の“いいね”を再発見する場、両主催団体が様々な団体等と、より一層の連携や協働の輪を拡げながら実施することで、あらゆる世代の方々が楽しみながら生涯学習に触れる場を創出するものです。

ステージ発表では、子ども会の創作ダンスや明秀日立高校ダンス部のチアダンス、百年塾市民教授の活動発表などのほか、正午からは会場全体でラジオ体操に取り組みます。

市民教授の作品展示・体験コーナーでは、百年塾の活動紹介として、市民教授による作品を展示するほか、体験コーナーを設け、来場者に生涯学習活動を始めるきっかけを提供します。

若い世代の活躍の場としまして、小学生から大学生まで、多くのボランティアの協力による運営を行い、日立第二高校の学生によるお花のじゅうたん、茨城大学の学生による大道芸などを催します。

その他にも、ひたちグルメマーケット、チャレンジスタンプラリー、ハロウィンパレードなど盛りだくさんのイベントを用意しておりますので、御家族、御友人お誘い合わせの上、ぜひ御来場ください。

イ 「介護予防と映画の集い」において開催するラジオ体操講演会について

生涯学習課長 介護予防と映画の集いは、市民の皆様にご理解を深めていただくため、毎年、日立市介護保険課が開催しております。

今年度は、本市の郷土の宝であるラジオ体操がテーマになったことから、講演会を共催することといたしました。

日時は11月9日(土)午後1時から午後4時10分まで、会場は日立市民会館です。

内容については、講演・実演・映画の3部構成となっており、講演では、「ラジオ体操のポイントやその効果等について」NPO法人全国ラジオ体操連盟理事長の青山 敏彦 氏から、御講演をいただきます。

実演では、日立市ラジオ体操普及推進協議会会長の及川 謙治 氏から、ワンポイント指導を受けながら、来場者も一緒にラジオ体操を行います。

映画は、定年退職したシングルファーザーがラジオ体操を通じて地域デビューを果たし、新たな人生を歩んでいくまでを描いた「体操しようよ」を上映します。

ウ ぷら・スポ フェスタ2019について

スポーツ振興課長 本事業は、公益財団法人日立市体育協会が行うもので、10月20日(日)に池の川さくらアリーナ及びアリーナ前駐車場等のスペースを使って開催します。

御承知のとおり、この「ぷら・スポ フェスタ」は、以前は「スポレクフェア」として実施しておりましたが、東日本大震災後、市民運動公園野球場に会場を移して開催しておりました。平成29年2月に池の川さくらアリーナ開館記念イベントとして開催した際に、現在の名称へ改め、内容をリニューアルし、現在に至っているところです。「ぷら・スポ フェスタ」としましては、今回が4回目の開催となります。

開催時間は午前9時から午後3時まで、小雨決行ではありますが、雨天時は一部内容を変更して室内で開催しますので、ぜひお出掛けいただければと思います。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総務課長 令和元年10月24日(木)午後1時30分から、日立市役所4階庁議室で開催予定です。

6 閉 会

教育長 以上をもちまして、教育委員会9月定例会を終了します。

以 上